

【建コン協本部若手の会（伊藤昌明代表（オリエンタルコンサルタンツ））

全国各支部 若手組織代表者が集結 活動促進へ全国交流会を開催】

## 全国各支部 若手組織代表者が集結

### 活動促進へ全国交流会を開催

建コン協本部の若手

建設コンサルタンツ協会本部の「業界展望を考える若手技術者の会」（伊藤昌明代表）は25日、協会内の各支部から9つの若手組織の代表者50人が集結し、「建コンWILLSUMMIT2019（全国交流会）」を都内で開催した。写真。

建コンWILLSUMMITは、全国各支部の若手組織代表者が一堂に会して、それぞれの活動成果を共有し、今後の展望に関する議論を通してお互いに熱量を高め合い、さらなる活動の促進につなげることを目的に、毎年1回開催しているもの。

第1部では、各支部からの活動報告として、業界全体が抱えている担い

手確保やワークライフバランス、魅力発信、発注者との対話等に取り組んだ事例のプレゼンが行われ、参加者で情報共有した。

第2部では、「若手コミュニティをアップデートせよ」をテーマにパネルディスカッションが行われ、パネリストと会場全体を交えてインタラクティブに討議した。若手コミュニティで活動を通して何を求めているか



のキークエスチョンに対して、パネリストの片岸将広氏（日本海コンサルタント）は、「ポジティブな仲間とのつながりこそが自分自身を成長させてくれる。若手コミュニティのアップデートというより、自分をアップデートできるコミュニティであるべき」とし、榎戸美嘉彩氏（長大）は、「熱量の高い人たちとつながることがモチベーションになり、何より面白く、自分も行動しようと思える。自分が行動することで結果的に会社がより良くなるのであれば、すばらしいこと」と述べた。

最後に、ファシリテーターの伊藤代表（オリエンタルコンサルタンツ）は、「自分以外・会社以外・業界外の人とつながって価値観に触れることが、いわゆる『越境』することが自分のアップデートにつながる。会社から個へパワーアップしている時代だからこそ、自分の市場価値を高めていかなければならない。若手コミュニティはそういう人材が集うサードプレイスでありたい。今日のWILLSUMMITを通して、共通認識を持たないか」と総括した。

今後、建コン企業で働く誰もが自由に参画できる「オンラインサロン建コンアップデート研究所（<https://kencon-update.irs.jindotree.com/>）」をプラットフォームとして、これまで支部内でクローズしていたイベント開催の告知や各種広報ツール、活動成果などの情報を一元化しオープンにすることがよって、さらなるムーブメントを興していく。